



「科学技術・イノベーション政策2022」発表会

主な府省庁の令和4年度予算に見る

●日時: 2022年1月25日(火) 12:00~18:30

●場所: 学士会館 2階202号室

入場者限定

新型コロナウイルス感染症のパンデミック（大流行）に変異ウイルスの猛威が加わって丁度2年余りになる。世界では「コロナ慣れ」が浸透し、経済・社会の自立の動きが目立ち始めた。特に浮き彫りになってきたのは、米国の600兆円にのぼるコロナ経済対策、インフラ投資計画など財政主導による復興政策である。日本も“待ったなし”の国際ランキングの巻き返しが求められる。2022年度は第6期科学技術・イノベーション基本計画が始動し、イノベーションの創出、Society5.0の実装、文理融合、社会課題対応など、本格的な科学技術再興策が始まる。中長期的には、2025年の大阪万国博覧会、2030年の国連SDGs最終目標年、さらには2050年の脱酸素計画（カーボンニュートラル）と、目標を着実にこなし、再び世界の指導国に返り咲かなければならない。

日本では、技術予算で、政府1に対して民間が10の割合だ。政府が基礎技術と最先端技術を受け持ち、民間はその実装と応用技術を主に取り組み。これまで以上に、官民が共同して、「イノベーション創出」を旗印に、投資計画を実行に移したい。自動車、素材産業など世界をリードする産業を伸ばし、484兆円の内部留保の前向き投資化を推進し、サイバー空間とリアル空間の併用、大胆なM&A戦略、時価総額経営の促進を達成する。戦略的、攻撃的、能動的で、澁漑とした日本を再現したい。

◆説明府省◆

**内閣府、内閣官房、総務省、
文部科学省、厚生労働省、
農林水産省、経済産業省、
国土交通省、環境省、防衛省**

◆説明内容◆

「令和4年度における科学技術・イノベーション政策への各府省庁の取り組み」
(令和4年度の当初予算額、新規政策、継続重点政策と今後の対策など)



●日時:2022年1月25日(火) 12:00~18:30 ●場所:学士会館 2階202号室

◆発表会の概要◆

12:00 開場

12:30~13:10

- ・開会 橋田忠明副会長兼専務理事
- ・司会 林裕子山口大学大学院技術経営研究科特命教授
- ・挨拶 白井克彦会長(早稲田大学名誉顧問(元総長))
- ・挨拶 松尾泰樹内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局長
- ・挨拶 杉田亮毅最高顧問(日本経済新聞社参与(元社長)・日本経済研究センター参与(元会長))
- ・概況説明 米田健三内閣府科学技術・イノベーション推進事務局 統括官

13:10~13:30

新型コロナ対策の全体説明 内閣府 健康・医療戦略推進事務局

13:30~15:30

4府省(1府省当たり20分+質疑応答10分)

13:30~14:00 内閣府

14:00~14:30 総務省

14:30~15:00 文部科学省

15:00~15:30 厚生労働省

15:30~15:40 <休憩>

15:40~18:30

5府省(1府省当たり20分+質疑応答10分)

15:40~16:10 農林水産省

16:10~16:40 経済産業省

16:40~17:10 国土交通省

17:10~17:40 環境省

17:40~18:10 防衛省

18:10~18:30 総括コメント



【アクセス】学士会館
東京都千代田区神田錦町3-28
TEL: 03 - 3292 - 5936 (代表)

参加費: 無料

●氏名: _____ ●役職: _____
 ●所属: _____ ●住所: _____
 ●電話番号: () - _____ ●FAX番号: () - _____ ●Eメール: _____

